

実用技術英語 I (Practical English I for Electronics and Information Engineering)		1 年・前期・2 単位・選択 電子情報工学専攻・担当 平井 誠	
		〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1 (80 %), C-2 (20 %)	〔JABEE 基準〕 (d-2a), (f)
〔講義の目的〕 国際化の潮流のもとで、研究者・技術者間の英語コミュニケーション能力は実用上必須である。本講義では技術英語 (Technical English) とは何かを解説し、英技術論文の読解・作成演習・添削を通じて、技術英語の勉強法を習得する。			
〔講義の概要〕 Technical Writing は『技術情報を (技術者である) 読者にわかりやすく書き表す』技術であり、技術論文の作成、プレゼンテーションや技術討議の基本である。これを習得するため、最新の論文および新聞記事を精読および多読し、基本事項を解説する。他にも受講者各自の研究内容紹介を英文で作成し添削を行う。			
〔履修上の留意点〕 本講義は技術英語の勉強法を習得するもので、受講生は継続的な自己学習が不可欠である。			
〔到達目標〕 1) 自分の特別研究に関する専門用語を正確に習得する。 2) 電子情報分野に共通する基本単語と基本的表現法を可能な範囲で習得する。 3) 技術英語力獲得のための基礎となる学習方法を会得する。			
〔自己学習〕 授業の復習を行うこと。また、和訳および英作文の課題に関しても授業の資料や関連論文を参考にし、他者にわかりやすく表現できるように工夫すること。			
〔評価方法〕 成績は定期試験 2 回の平均 (80 %) に加えて、演習および課題レポート点 (15 %)、授業への取り組み (ノート作成) (5 %) を総合して評価する。			
〔教科書〕 〔補助教材・参考書〕 谷口滋次、田中敏宏、飯田考道、J. D. Cox: 『英語で書く科学・技術論文』、東京化学同人 (1995). 上田秀樹: 『ネイティブに通じる英文技術文書の書き方』、工業調査会 (2006).			
〔関連科目〕 英語および専門基礎科目			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第 1 週	ガイダンス	英語は各国の専門家同士が正確に技術情報を交換し議論するために、必要不可欠な道具であることを説明する。	
第 2 週	英文 E メールの書き方	技術系の英文 E メールを書くための基本ルールを説明する。	
第 3 週	英論文の作成演習 1	科学技術論文の構成を説明する。各人の特別研究の結果と考察について英語で発表を行い、表現内容を討議する。	
第 4 週	英論文の作成演習 2	同上 (2)	
第 5 週	英論文の作成演習 3	同上 (3)	
第 6 週	英論文の作成演習 4	同上 (4)	
第 7 週	英論文の作成演習 5	同上 (5)	
第 8 週	中間試験		
第 9 週	英論文の構成 1	電気・情報系に関する論文を参考にしながら、論文における Introduction の役割を理解し、表現方法を学ぶ。	
第 10 週	英論文の構成 2	受講者各自の特別研究の Introduction を英文で作成・添削を行い、表現内容を全員で討議する。	
第 11 週	英論文の構成 3	同上 (2)	
第 12 週	英論文の構成 4	電気・情報系に関する論文を参考にしながら、論文における Abstract および Title の役割と表現方法を学ぶ。	
第 13 週	英論文の構成 5	受講者各自の特別研究の Abstract および Title を英文で作成・添削を行い、表現内容を全員で討議する。	
第 14 週	技術英語の勉強法	これまでの英文の作成と口頭発表・討議を通じて、各人の技術英語の今後の勉強方法を把握する。	
第 15 週	期末試験		

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)